第４次吉田町男女共同参画プラン（案）パブリックコメントの実施結果について

１　パブリックコメントの実施概要について

⑴　意見募集期間

令和３年１月１５日（金）から令和３年１月２９日（金）

⑵　応募対象者

・町内に住所を有する者
・町内に事務所又は事業所を有する者
・町内の事務所又は事業所に勤務する者
・町内の学校に在学する者
・町税の納税義務者

⑶　公表した資料

第４次吉田町男女共同参画プラン（案）

⑷　資料の閲覧場所

・町ホームページ
・吉田町役場６階企画課
・吉田町役場１階「吉田町情報コーナー」

⑸　周知方法

町ホームページ

⑹　意見の募集方法

所定の様式により、メール、郵送、持参、ＦＡＸのいずれかにて提出

⑺　意見の応募者数及び件数

１人・６件

２　お寄せいただいた御意見に対する町の回答

<table>
<tr><th>御意見（原文のまま）</th><th>回答</th></tr>
<tr><td>「第４次吉田町男女共同参画プラン（素案）」に記載されている４つの基本目標内の「指標」のほとんどが「吉田町男女共同参画プラン（第３次）」と同じであり、そのうち約６割が目標未到達見込みです。にもかかわらず、「主な取組」も第３次と第４次でかなり重複しています。
具体的な事業・施策では改革しようと考えているとは思います。第３次において毎年進捗状況の管理や施策の評価を行っていたようですが、成果に結びついていない点を踏まえ、第４次では検討委員会の進め方も含め、目標達成に向けての事業・施策をしっかりと改革していただきたいと思います。</td><td>御意見ありがとうございます。
指標の達成に向け、取組の進捗状況の把握や評価を継続して実施してまいります。また、指標の達成に結び付いていない取組につきましては、外部組織である検討委員会での評価結果を踏まえるとともに、関係課と実施方法等の見直しを協議し、「指標」を達成できるよう取組を強化してまいります。</td></tr>
<tr><td>各基本目標の「４年後の姿」は「吉田町男女共同参画プラン（第３次）」とほぼ同じです。ということは、第３次の「４年後の姿」は未達であると理解します。
「４年後の姿」の記載は、尤もなことでありますが、本プランの４年間で実現できるとは考えにくいと思います。折角「４年後の姿」の項目を設けるのであれば、理想的な記述ではなく、４年後に達成可能な現実的な表現にした方が目指す姿がより明確になるのではないでしょうか。</td><td>御意見ありがとうございます。
「４年後の姿」の項目につきましては、「第５次吉田町総合計画」と同様に、「施策を実施することにより、目指している４年後の姿」としております。</td></tr>
<tr><th colspan="2">基本目標１　あらゆる教育の場において</th></tr>
<tr><td>施策の方向１「指標」①中学生における「男女共同参画社会」という用語の認知度の目標９０％に対して、第２次プラン（平成２３年度～平成２８年度）からの現況値は以下のようになっており、
<table>
<tr><td>Ｈ２２</td><td>Ｈ２５</td></tr>
<tr><td>－</td><td>３８．４％</td></tr>
<tr><td>Ｈ２８</td><td>Ｒ２</td></tr>
<tr><td>１１％</td><td>２８．３％</td></tr>
<tr><td>目標（全プラン）</td><td></td></tr>
<tr><td>９０％</td><td></td></tr>
</table></td><td>御意見ありがとうございます。
低い数値で推移している現状につきまして、中学生への効果的な啓発方法を確立できていないことが原因の１つと考え、吉田中学校や学校教育課と効果的な啓発の手法を協議しており、これまで対象の学年を絞って実施していた啓発チラシの配布を、来年度以降、毎年全学年を対象に実施することを予定しております。
今後の進む方向を考えていく上で、中学生が男女共同参画の意識を持つことが大変重要であると考</td></tr>
</table>

目標に対して１０年間極めて低い数値で推移しています。 この原因をどのように分析し、今後どのような対策を打つ予定でしょうか。	えておりますので、上記以外にも、「男女共同参画社会」について学習する機会を提供していくことにより、認知度の向上を図ってまいります。
施策の方向３「指標」③男女共同参画に関する講演会や講座等の開催回数は第３次目標２２回/年に対して令和元年２９回/年と目標を達成していますが、私は「よしだ未来フォーラム」の講演会くらいしか認識していません。 これらの講演会や講座等はどのように行われ、その開催通知はどのような手段で町民に広報されているのでしょうか。 また、目標値を現状値より低い２５回/年としたのは何故でしょうか。	御意見ありがとうございます。 男女共同参画に関する講演会や講座等の開催回数につきましては、「よしだ未来フォーラム」の他に、男女共同参画の視点が含まれている「パパママ教室」、「介護者のつどい」、「地域防災指導員養成講座」、「合同企業説明会」が対象となっており、これらの開催回数の合計となっております。取組ごとに町民の方への周知方法は異なっておりますが、全ての取組に共通して、チラシやホームページ、広報よしだのいずれかの方法での周知を行っております。 目標値の減少につきましては、「パパママ教室」の各回の内容を集約し、開催回数の見直しを行ったことが理由となっており、対象の取組は前プランと同様となっております。
基本目標２　職場において	
施策の方向３「主な取組」①女性の就業に関する支援の充実に関して、第３次の「女性の就業・創業に関する支援の充実」から創業を削除した理由は何でしょうか。	御意見ありがとうございます。 前プランにおきましては、就職と創業を分けて考えておりましたが、本プランにおきましては、就業の中に創業も含め、引き続き、女性活躍の推進に取り組んでまいります。
施策の方向３「指標」③育児と仕事をしている女性の割合（２０代～４０代の正規職）に関して、育児をしながら仕事をしたいとの希望を持っているものの、現実には働けない方への支援や環境の整備は重要であると思います。 そのような希望をお持ちでありながら働けていない方や非正規職につきながら育児を行っている方が対象の方の中でそれぞれどのくらいの比率居るのでしょうか。 その方々のうち、どのくらいの方が正規職として働けるようになれば、目標値の５０％を達成できる	御意見ありがとうございます。 育児と仕事（正規職）の両立を希望している方がどれくらいいるのかは把握しておりませんが、「令和２年度男女共同参画に関する町民意識調査」の結果から２０代から４０代で育児中の方の３５．６％が非正規職、１６．９％が専業主婦となっております。 指標③育児と仕事をしている女性の割合（２０代～４０代の正規職）の現況値が４４．１％となっておりますが、今後とも労働環境に関する啓発や子育て環境の整備等を通じて、１人でも多くの女性が正

のでしょうか。	規職として育児と仕事の両立ができる環境づくりをし、目標値の５０％を達成できるよう努めてまいります。